

# 凡 例

本書は2021年6月30日現在における総トン数100トン以上の日本国籍を持つ船舶を収録した。ただし、内航登録船（内航海運業法上の登録を受けたものが所有する船舶）を除く。漁船については、500総トン以上の第1種・第2種、100総トン以上の第3種を収録した。500総トン未満の第1種・第2種漁船は、100総トン未満の船舶を収録した別冊「日本船舶明細書Ⅱ」に、100総トン以上の内航登録船は、別冊「内航船舶明細書」に収録した。

本書編纂の方針として

1. 本文中の各船舶の配列は、総トン数の大きい順とし、同じトン数は英文船名昇順とした。
2. 計量単位ならびに記号は計量法及び計量単位令の定めによった。
3. 年号は西暦で表示した。

以下に本書使用の便宜のため船舶明細各欄につき詳細に説明する。（見出し欄の（ ）は、1,000総トン未満用の掲載箇所を示す）

- 1欄（1欄） 船 名 和文、英文とも本船固有の表記による。  
 計画造船年次 旧日本開発銀行の海運融資対象船のみ、各年次を①～⑥で表示した。  
 船 種 用途別にできる限り詳細に分類し次の略号で表示した。

油	油送船	土	土砂運搬船	貨客	貨物/旅客兼用船	獲	漁獲物運搬船
鉞油	鉞/油兼用船		砂利運搬船	フ	フェリー、自動車渡船	漁	漁撈船
OBO	鉞/撒/油兼用船		石材運搬船	レ	ブレイクハート		捕鯨船
貨油	貨物/油兼用船		砂利採取運搬船	遊	釣舟、屋形船等		トロール漁船
鉞	鉞石専用船	化	ケミカルタンカー	曳	曳船		延縄漁船
鉞炭	鉞/炭兼用船		危険物	押	押船		底曳漁船
鉞撒	鉞/撒兼用船		苛性ソーダ	押曳	押/曳兼用船		旋網漁船
炭	石炭専用船		アンモニア水	曳重	重量物/曳兼用船	工	鮭鱒母船
ニ	ニッケル専用船		硫酸等	曳救	曳/救助兼用船		捕鯨母船
ボ	ボーサイト専用船		アスファルト	救	救助船		蟹工船、ミール船
燐	燐鉞石専用船		糖蜜運搬船等	水	給水船		冷凍工船
塩	塩専用船	液ガ	高圧液化ガス船	特	練習船、実習船	巡	巡視船、監視艇
撒	撒積専用船		液化アンモニア		ケーブル敷設船	消	消防・防災船
穀	穀物専用船		エチレン		漁業取締船		オイルフェンス展張船
木	木材専用船		塩化ビニールモノマ		漁業調査船	観	気象観測船
チ	チップ専用船		プロピレンオキサイド等		油回収船	測	測量船
自	自動車専用船	LP	LP G 船		海面清掃船	起	起重機船
貨	自動車/貨物兼用船	LN	LN G 船		診療船	浚	浚渫船
自	自動車/撒兼用船	C	フルコンテナ船		視察船	揚	揚錨船
鋼	鋼材専用船	貨	一般貨物船	廃	産業廃棄物船	揚	揚錨/曳兼用船
セ	セメント専用船	重	重量物運搬船		し尿運搬船	作	多目的作業船
コ	コークス専用船	客	旅客船	調査	海洋・深海調査船	業	サブライボート
灰	石灰石専用船		観光遊覧船		学術調査船	警戒	側方進路警戒船
冷	冷凍・冷蔵運搬船		水中翼船		資源探査船	交	交通船

- 2欄（2欄） 船 級 起工、進水、竣工年月のほか、改造船については改造年を付した。  
 略号により表示した。

- 3欄（2欄） 航 行 区 域 遠洋、近海、沿海、平水とし、漁船の場合は従業制限で区分した。

- 4欄（3欄）

- 5欄（3欄）

- 6欄（4欄）

- 7欄（5欄）

燃料消費量

各数字とも少数点以下2位までとし、3位以下は切捨て。

登録長、型幅、型深は船舶原簿登録寸法を示す。

主機、補機用を合算して航海中と碇泊中（荷役・非荷役双方の場合）別に、一昼夜の使用量をトン（t）で表示した。

- 8欄（4欄）

燃料収容量

主機、補機用を合算しトン（t）で1000総トン以上は種類別に表示した。

速力

満載航海速力と試運転最高速力をノット（kt）で表示した。

航続距離

燃料補給なしに連続航海できる最長距離を海里（マイル）で表示した。

- 9欄（3欄）

平均喫水

夏期満載時におけるものを示す。

マスト高

上甲板上（船体中央舷側部）からレーダーマスト、デリックマスト等のうち最も高い位置を示す。

- 10欄（5欄）

タンク

フレッシュ・ウォータタンク、ウォータ・バラスタタンクは収容量（t）、カーゴ・ディープ・タンクは容積（m<sup>3</sup>）を示す。

ハッチ（艙口）

カバー 型式は開閉の形状、作業等から次の略号で示した。

巻取（フォールディング式）

エルマン型、コンベックスタイプ等

折り（折りたたみ式）

舷側方向（サイド）、船首船尾方向（エンド）がある

チェーンなどで連結したシングルプル型、マックグレゴリー型等

ロール（ローリング式）

レールに沿って移動

舷側方向（サイド）、船首船尾方向（エンド）がある

積重ね(積み重ね式)	スタッキング式等
ピギー(ピギーバック式)	ローリング式と積み重ね式の混合型
リフト(ポンツーンハッチカバー)	クレーンで持ち上げるタイプ
フタ	
その他	上記にあてはまらない型式

11欄 (8欄)	乗組員	実乗員数を示し、職は職員、部は部員を表わす。
12欄 (5欄)	船底構造 船側構造	貨物艙の構造を <b>単底</b> 、 <b>一部</b> (一部二重底)、 <b>全部</b> (全部二重底)で示した。 " <b>シングル</b> 、 <b>ダブル</b> で示した。
13欄 (6欄)	艙口寸法容積 積荷別数	Pは左舷、Sは右舷、Cは中央、スはSlop tank(廃液タンク)を示す。 コンテナ船の場合は20フィート型コンテナ換算積載数を示し、自動車運搬船は積載自動車台数を示す。
14欄 (6欄)	荷役装置 デリック ウインチ ポンプ 荷役能力	動力源を示す。 デリック・ウインチ・クレーンともにトン(t)数を示す。なお、デリックはデ、ウインチはウ、クレーンはクと表示した。 油送船は貨油ポンプの型式と1時間当りの能力(m <sup>3</sup> /h)、数及び主貨油連結管口径(吋)を示す。なお、ポンプはポと表示した。 土運船等のガット・バケット・グラブの単位はm <sup>3</sup> 。 冷凍・冷蔵船は、艙内保持温度、冷媒及び冷却方式を表示した。 曳船は曳航力、押船は、押航力をキロトンにて表示した。
15欄 (7欄)	船型	船舶の外観より三島型、平甲板型、凹甲板型、遮浪甲板型、全通船楼型、二層甲板型、多層甲板型、低船尾楼型、双胴型等に区分した。
16欄 (7欄)	主機種類 馬力	ディーゼルは <b>D</b> 、タービンは <b>T</b> 、LNGは <b>G</b> 、スチームは <b>S</b> 、電気推進は <b>E</b> 、DFエンジンは <b>W</b> の略号で表示した。主機が複数の場合は合計馬力数とし、型式の最後に×により台数を示した。(例6MS×2) 計量単位の国際標準化に伴い、単位「PS」は「kW」に換算し併記した。
(7欄)	船舶電話/FAX	番号のみを表示。
17欄	送信機 受信機	使用チャンネル別の出力及び台数。 受信チャンネル別の台数。
18欄 (8欄)	1. 汽罐の圧力 2. 発電機種類  1. 航海機器	1 平方センチメートルについての制限汽圧をキログラムで表示した。 ディーゼルは <b>D</b> 、タービンは <b>T</b> 、主機駆動は <b>M</b> 、軸発電機は <b>S</b> 、緊急用補助発電機は <b>E</b> で表示した。 次の略号で表示した。 ※インマルサット番号は衛に続く括弧内の9桁数字

レ	レーダ	音	音響測深機	方	方位測定機	パ	オートパイロット(HCS)
ロ	ロラン	ジ	ジャイロコンパス			程	測程儀(電磁式)
デ	デッカ	サ	サテライトコンパス			ド	ドップラーソナー
オ	オメガ	風	真風向風速計			湿	船艙乾湿調整装置
N	船位測定機		(Navy Navigation Satellite System)			衝	自動衝突予防援助装置(ARPA)
A	自動姿勢制御装置		(Automatic Control System)			警	船橋航海当直警報装置(BNWS)
D	自動船位保持装置		(Dynamic Positioning System)			H	ヒーティングコイル
G	衛星航法装置		(GPS Receiver)			イ	イナートガス装置
識	船舶自動識別装置		(AIS、簡易型含)			ア	アンチローリングタンク
録	航海情報記録装置		(VDR)			ス	スラスト(方向推進装置)
情	電子海図情報表示装置		(ECDIS)			減	ハイブリッド式減揺装置
物	自動物標追跡装置		(ATA)			フ	フィンスタビライザ
図	電子海図		(Electronic Chart System)			可	可変ピッチプロペラ
気	ファクシミリ		(気象模写受信装置)			R	レックスプロペラ
衛	インマルサット		(海事衛星通信装置)			V	フォイトシュナイダプロペラ
報	船舶警報通報装置		(SSAS)			Z	Zプロペラ
電	電気推進システム					ダ	ダックプロペラ
自	主機自動制御装置、主機遠隔操縦装置					コ	コルトノズルプロペラ
超	超自動化装置		(Shipboard Computer)			F	フラップラダー
T	トラックコントロールシステム		(TCS)			S	シリングラダー
航	統合航海システム		(Integrated Navigation System)				
ブ	統合化ブリッジシステム		(Integrated Bridge System)				
追	航海長距離識別追跡装置		(Long Range Identification and Tracking)				
二	二軸CPP式電気推進システム					ハ	ハイブリッド式電気推進システム
ラ	ラインシャフトCRP式電気推進システム					重	二重反転プロペラ(CRP)
ポ	ポッド式電気推進システム					フ	CFRPプロペラ(炭素繊維強化プラスチック)
タ	タンデムハイブリッド式電気推進システム					排	排ガス浄化装置(SOxスクラバー)

4. 運航形態	申告に基づき下記の略号で表示した。 自 自営      定 定期傭船      裸 裸傭船      委 運航委託
5. 船協区分	3の表示 船協加盟船(日本船主協会会員会社の所有船舶) 4の表示 3. 以外の船舶
国際トン数	国際航海に従事する船舶に表示した。